



2014-2015 年度

国際ロータリー会長 / ゲイリー C. K. ホアン
2690地区ガバナー / 松本 祐二

会長 / 内田 節夫 副会長 / 河原 治子
幹事 / 福田磨寿穂 会計 / 小村 益造

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
7月10日	会員 小汀 泰之	出雲市男女共同参画のまちづくりに向けて
7月17日	各委員長	クラブ協議会 (行動計画発表)
7月24日	前年度会計 石原 輝男 今年度会計 小村 益造	クラブ協議会 (決算・予算)

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
44	31	13 (4)	77.5 %	90.24 %

■欠席者 ■

加藤喜 / 山口 / 黒田 / 土江 / 小松 / 園山 / 板垣 / 石原俊 / 原孝 (山根 / 牧野 / 木村 / 伊藤)

■来訪者 ■ なし

■メイクアップ ■

なし

■次回例会受付当番 ■

(7月24日) 清原正幸 / 原 孝士 / 原 泰久

(7月31日) 小松博幸 / 堀江卓男 / 飯塚大幸

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖 8/12 8/26
水	大社 7/23 8/13(休) 8/20	松江 8/13 8/27
木		松江東 7/31 8/14 8/28
金	出雲南 7/11	

■会長挨拶 ■

梅雨明けの時期が近づきました、これから本格的な夏に向かいますが、元気で夏を乗り越えたいものです。

一方、台風8号の動きが大変心配です。沖縄や新潟では、記録的な大雨となり甚大な被害が発生しています。予報では、本日午後四国に接近するようですが、十分な警戒が必要です。被害がないことを祈る次第です。

前飯塚会長様、この度陸前高田市への義援金の贈呈お世話になりました。また、私たちから、地域社会への発信であります「季節のたよりN.36」が7月8日全戸配布されました。広報委員会の皆様ありがとうございました。

さて、7月に入りましたが、7月は風物詩として、山開き、七夕、土用の丑の日、夏祭りなどがあります。中でも夏を乗り切るスタミナ源の「うなぎ」は江戸時代から土用の丑の日に食べる習慣となり、今月23日ごろだそうです。

なお、うなぎの資源の深刻な問題がありますが、またの機会にお話ししたいと思います。

■幹事報告 ■

1. 次週の例会プログラム(クラブ協議会)は、各委員長の方に今年度の運営活動報告をお願い致します。

2. 地区雑誌・広報委員長会議のご案内

日時 8/2(土) 13:00~15:10 ホテルサンパレス益田
当クラブより板垣委員長 出席致します。

■委員会報告 ■

プログラム委員会 : 7月例会プログラムの発表

社会奉仕委員会 : 7/26 平田まつり協賛「献血運動」について

出席・親睦委員会 : 8/7 納涼例会について

前年度 クラブ広報委員会 : 「季節のたより」発行の報告

前年度 出席・親睦委員会 : 優良出席者の表彰



ホーム100%出席者
2名

100%出席者
17名



■スマイル ■

内田 (季節のたより発行、広報委員会に感謝します。出席率100%の会員に敬意を表します。出席を重んじるRC会員のお手本です。)

飯塚大 (陸前高田 RCへ皆さまの温かい義捐金 555,555円を届けさせて頂きました。ご協力まことにありがとうございました。)



佐々木 (季節のたより36号 無事に発行されました。前年度クラブ広報委員会の皆さん、ありがとうございました。)

河原 (季節のたよりが出来ました。おかげさまで)

黒田 (本日7月10日は、X才の誕生日です。)

■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

「出雲市男女共同参画のまちづくりに向けて」 小汀 泰之 会員

(出雲市男女共同参画推進委員会 会長)

今から6年前、川跡コミュニティセンターで男女共同参画に関する専門部会を立ち上げることであり、以来、出雲市男女共同参画推進委員会に関わっています。



推進委員会では、男女共同参画の視点からの防災対策を協議、提言書にまとめ、市長に提出しました。

提言の内容

I 地域における男女共同参画意識づくりの推進

災害時に、男女が共同して防災に対応できる強い地域となるために、平常時からすべての世代に対し、家庭・地域・学校・職場で男女共同参画の意識啓発を行い、男女がともに認め合い支えあう地域づくりを進める。

II 男女共同参画の視点を取り入れた防災(復興)体制の確立

防災(復興)のすべての過程・会議・組織等で、女性の参画を拡大し、女性の意見を反映させる。

III 地域における男女共同参画の視点での避難所運営及び復興の取組

各地域での防災計画・避難所運営マニュアル等に男女共同参画の視点を盛り込み、災害対応時に地域で支えあう仕組みをつくる。



地域での男女共同参画の意識を高めるためには、地域自らが取り組むことが重要で、その活動の積み重ねが地域の力を高めていくことにつながります。